

和歌山病院での実習を終えて



西村 美咲

今回、第3内科における臨床実習の一環として、2月27、28日の2日間、和歌山病院にて実習させて頂きました。

セミナー、見学など様々な内容を用意していただきましたが、中でも特に印象に残っているのは、南方院長先生による双方向型のセミナーです。先生の問いかけに対して、それぞれの答えを思うままに答える。そしてその答えを踏まえて更に内容が展開されていくセミナーは、普段の実習ではなかなか体験できないものでとても刺激的でした。このセミナーを受けることで、丸暗記でしか記憶できなかったx線読影の理論を、論理的に考えることができるようになりました。また肺区域を覚える体操を、実際に体を動かしながらレクチャーして頂き、ぼんやりとしか覚えていなかった肺の解剖について、改めてしっかりと理解し直すことができました。

また駿田副院長先生のセミナーでは、結核について改めて基礎的な内容から復習して頂きました。結核病棟の見学もさせて頂き、病棟そのものや看護の様子などを知ることができました。N95 マスクを実際に着けさせて頂き、想像でしか分からなかった着用感をリアルに体験することができました。

最後になりましたが、ご多忙の中熱心に指導して下さった南方院長先生、駿田副院長先生をはじめとした先生方、実習の準備やサポートをして下さった職員の皆様に 厚く御礼申し上げます。二日間、本当にありがとうございました。